

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 ヘリオス テクノ ホールディング株式会社
 コード番号 6927 URL <http://www.heliostec-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役統括管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東 JQ

(氏名) 田原 廣哉

(氏名) 川坂 陽一

TEL 079-263-9500

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	6,941	37.0	△172	—	△120	—	△197	—
21年3月期第3四半期	5,065	—	60	—	42	—	△199	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△9.00	—
21年3月期第3四半期	△9.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	12,696	8,345	65.7	377.45
21年3月期	9,038	8,330	92.2	402.85

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 8,345百万円 21年3月期 8,330百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	2.25	—	2.25	4.50
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期 (予想)				2.00	2.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,393	86.4	△15	—	24	—	△60	—	△2.73

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

フェニックス電機株式会社、株式会

新規 3社 (社名 社日本技術センター、ナカンテクノ株) 除外 1社 (社名
株式会社)

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	22,806,900株	21年3月期	22,806,900株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	697,311株	21年3月期	2,128,476株
-----------	-------------	----------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	21,953,774株	21年3月期第3四半期	21,678,478株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。上記の予想に関する事項は4ページ【連結業績予想に関する定性的情報】をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年の金融危機の影響の中、各国政府・金融当局が打ち出した金融安定化策、景気刺激策による世界経済の持ち直しの動きとともに、徐々に落ち着きを見せ始め、在庫調整の進展、中国経済の拡大に合わせ、一部の産業において生産活動が回復するなど、景気は緩やかな回復基調となってきました。

当社グループは従来のランプ事業だけでなく、期初に検査装置製造及び技術者派遣を中心とする株式会社日本技術センターとの経営統合を実施し、更には、民事再生法による再建を図っておりましたナカン株式会社より、昨年7月に製造装置事業の事業譲渡を受けました。ナカンテクノ株式会社は、第2四半期より本格的に事業を開始しております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、株式会社日本技術センター並びにナカンテクノ株式会社の売上が寄与し、前年同期比137.0%の6,941百万円となりました。

セグメント別の概況は、以下の通りとなります。

「ランプ事業」につきましては、プロジェクター市場においては、昨年の世界不況による前期第4四半期及び当第1四半期の急激な落ち込みから徐々に受注を回復し、当第3四半期においては前第3四半期並の実績まで回復してきましたが上半期の落ち込みの影響は大きく、プロジェクター用ランプの売上高は前年同期比63.2%の2,272百万円に留まりました。一方、一般照明用ランプにおいては、新製品であるLEDランプの販売は好調に推移しておりますが、不況による需要減の影響でハロゲンランプの落ち込みが影響し前年同期比89.7%の1,266百万円となりました。

この結果、ランプ事業全体の売上高は前年同期比71.1%の3,601百万円となりました。

「産業機器事業」につきましては、配光膜印刷装置、液晶パネル検査装置等、事業全体の売上高は2,048百万円となりました。

「人材派遣事業」につきましては、雇用情勢の悪化に伴い大幅な需要減も心配されましたが、技術者派遣が中心である為に、計画通りの比較的安定した推移をみせ、同事業の売上高は1,290百万円となりました。

当期におきましては、グループ化した事業子会社の内部統制システムの構築等システム強化のための費用が別途発生しています。

また、ナカンテクノ株式会社において、装置の仕掛期間が長期にわたるため、当第3四半期は当該期に売上は計上されておらず、費用分の損失のみ計上されております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,941百万円、営業損失172百万円、経常損失120百万円、四半期純損失は197百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、1,766百万円増加しております。主な増減内容は、受取手形及び売掛金の増加913百万円、棚卸資産の増加1,415百万円、現金及び預金の減少1,203百万円等であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、1,891百万円増加しております。主な増減内容は、有形固定資産の増加829百万円、のれんの増加284百万円及び積立保険料の増加162百万円等であります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ40.4%増加し、12,696百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、2,015百万円増加しております。増加内容は、支払手形及び買掛金の増加492百万円、前受金の増加830百万円及び未払費用（流動負債その他）の増加185百万円等でありま

す。
固定負債は、前連結会計年度末に比べ、1,627百万円増加しております。増加内容は、長期借入金の増加631百万円及び繰延税金負債の増加576百万円等であります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて514.1%増加し、4,351百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し、8,345万円となりました。増減内容は、四半期純損失197百万円に加え、株式交換に伴う差損252百万円、配当金の支払46百万円による減少となり、一方、株式交換による自己株式の減少により507百万円増加しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年11月6日に発表しました平成22年3月期通期の連結業績予想からの変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間より、分社型新設分割によりフェニックス電機株式会社、また株式の取得(金銭ならび株式交換)により株式会社日本技術センター、設立によりナカンテクノ株式会社を連結の範囲に含めました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算定に関しては、実地棚卸を省略し、帳簿棚卸に基づく棚卸高を用いています。

また、棚卸資産の簿価切下げに関して、当第3四半期連結会計期間末における棚卸資産評価において重要な変化は無いため、見直しは行っていません。

② 法人税等並びに繰延税金資産の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しましては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

工事損失引当金

当第1四半期連結会計期間より、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号）を適用しております。

工事契約に基づく取引のうち、第3四半期連結会計期間末において、受注額を上回る工事原価の見積もりとなるものについて、損失見込額を計上しました。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、営業損失、経常損失、税金等調整前四半期純損失はそれぞれ5百万円増加しています。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,847,478	4,050,675
受取手形及び売掛金	1,964,591	1,051,493
商品及び製品	184,535	207,017
仕掛品	1,543,816	190,606
原材料及び貯蔵品	425,342	340,690
その他	897,044	250,986
貸倒引当金	△6,654	△1,624
流動資産合計	7,856,154	6,089,846
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,653,924	1,103,708
土地	1,245,425	1,001,437
その他(純額)	768,802	733,839
有形固定資産合計	3,668,152	2,838,985
無形固定資産		
のれん	284,304	—
その他	39,144	29,404
無形固定資産合計	323,449	29,404
投資その他の資産		
その他	1,405,262	90,229
貸倒引当金	△556,454	△9,531
投資その他の資産合計	848,808	80,698
固定資産合計	4,840,410	2,949,088
資産合計	12,696,565	9,038,935
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	797,171	304,966
1年内返済予定の長期借入金	69,420	—
未払法人税等	82,710	9,947
前受金	839,954	—
賞与引当金	59,480	75,142
製品保証引当金	10,437	7,900
工事損失引当金	91,698	—
その他	686,442	223,951
流動負債合計	2,637,314	621,908

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
固定負債		
長期借入金	631,005	—
退職給付引当金	160,026	—
負ののれん	180,200	—
繰延税金負債	576,392	—
その他	166,404	86,639
固定負債合計	1,714,029	86,639
負債合計	4,351,343	708,547
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,177	2,133,177
資本剰余金	2,311,745	2,563,867
利益剰余金	4,140,207	4,384,368
自己株式	△248,126	△754,979
株主資本合計	8,337,004	8,326,433
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,217	3,954
評価・換算差額等合計	8,217	3,954
純資産合計	8,345,221	8,330,388
負債純資産合計	12,696,565	9,038,935

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	5,065,855	6,941,109
売上原価	3,748,548	5,297,699
売上総利益	1,317,307	1,643,410
販売費及び一般管理費	1,256,475	1,816,199
営業利益又は営業損失(△)	60,831	△172,789
営業外収益		
受取利息	11,192	5,216
受取配当金	712	755
助成金収入	20,147	—
業務受託料	—	52,399
負ののれん償却額	—	20,022
雑収入	8,735	14,812
営業外収益合計	40,787	93,206
営業外費用		
支払利息	1,509	10,652
投資有価証券評価損	5,280	—
為替差損	52,497	28,747
雑損失	—	1,870
営業外費用合計	59,287	41,270
経常利益又は経常損失(△)	42,331	△120,853
特別利益		
貸倒引当金戻入額	100	—
固定資産売却益	52	—
特別利益合計	152	—
特別損失		
固定資産除却損	29	164
減損損失	3,467	—
その他	—	100
特別損失合計	3,496	264
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	38,987	△121,117
法人税、住民税及び事業税	21,078	84,413
法人税等調整額	217,740	△7,896
法人税等合計	238,819	76,517
四半期純損失(△)	△199,831	△197,634

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	1,457,872	2,164,504
売上原価	1,137,320	1,653,124
売上総利益	320,551	511,379
販売費及び一般管理費	408,435	639,685
営業損失(△)	△87,883	△128,306
営業外収益		
受取利息	4,491	1,053
受取配当金	—	123
為替差益	—	5,585
助成金収入	20,147	—
業務受託料	—	40,306
負ののれん償却額	—	9,228
雑収入	3,176	3,079
営業外収益合計	27,814	59,377
営業外費用		
支払利息	394	3,847
投資有価証券評価損	2,933	—
為替差損	69,187	—
雑損失	—	1,870
営業外費用合計	72,515	5,718
経常損失(△)	△132,583	△74,646
税金等調整前四半期純損失(△)	△132,583	△74,646
法人税、住民税及び事業税	△51,804	△51,336
法人税等調整額	196,174	11,005
法人税等合計	144,370	△40,330
四半期純損失(△)	△276,954	△34,315

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	38,987	△121,117
減価償却費	417,366	300,079
減損損失	3,467	—
たな卸資産評価損	8,576	—
のれん償却額	—	30,149
賞与引当金の増減額(△は減少)	△116,723	△103,440
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,287	2,230
工事損失引当金の増減額(△は減少)	—	5,970
製品保証引当金の増減額(△は減少)	8,500	2,537
受取利息及び受取配当金	△11,904	△6,124
支払利息	1,509	10,652
投資有価証券評価損益(△は益)	—	△419
有形固定資産売却損益(△は益)	△52	—
固定資産除却損	29	164
売上債権の増減額(△は増加)	606,949	422,372
前受金の増減額(△は減少)	—	839,954
たな卸資産の増減額(△は増加)	56,436	△680,421
未収入金の増減額(△は増加)	210,850	704,126
仕入債務の増減額(△は減少)	△21,987	△460,726
未払消費税等の増減額(△は減少)	△411	△88,189
未払金の増減額(△は減少)	△13,206	△46,297
その他	△55,417	△309,504
小計	1,131,681	501,995
利息及び配当金の受取額	7,196	10,533
利息の支払額	△1,509	△10,652
法人税等の還付額	—	122,442
法人税等の支払額	△160,876	△17,279
営業活動によるキャッシュ・フロー	976,492	607,039
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	1,259,913
有価証券の取得による支出	—	△500,000
有価証券の売却による収入	—	500,151
保険積立金の解約による収入	—	57,159
有形固定資産の取得による支出	△139,244	△209,183
有形固定資産の売却による収入	63	—
無形固定資産の取得による支出	△7,018	△10,296
投資有価証券の取得による支出	—	△91
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	211,421
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,738,850
その他	△189	△13,796
投資活動によるキャッシュ・フロー	△146,389	△443,572

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△157,660	△55,665
設備支払手形による支払	61,619	△20,098
設備未払金の減少	△4,754	5,794
自己株式の取得による支出	—	△255
配当金の支払額	△157,169	△46,526
財務活動によるキャッシュ・フロー	△257,964	△116,750
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	572,138	46,716
現金及び現金同等物の期首残高	1,641,068	2,250,675
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,213,206	2,297,392

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) セグメント情報

(事業の種類別セグメント)

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

当社グループは製品の種類、製造方法、販売市場等の類似性から判断して同種のランプ事業を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	ランプ事業 (千円)	産業機器 事業 (千円)	派遣事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,601,870	2,048,309	1,290,930	6,941,109	—	6,941,109
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,052	9,849	12,902	△12,902	—
計	3,601,870	2,051,362	1,300,779	6,954,012	△12,902	6,941,109
営業利益又は営業損失	95,839	89,731	△13,574	171,995	△344,785	△172,789

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

- (1) ランプ事業 ……プロジェクター用ランプ、一般照明用ハロゲンランプ及びLEDランプ
- (2) 産業機器事業 …産業機械、検査・計測装置、配光膜印刷装置、特殊印刷機
- (3) 派遣事業 …… 技術系社員派遣、一般製造社員派遣

(所在地別セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「日本」の割合がいずれも100%であるため、記載を省略しています。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「日本」の割合がいずれも100%であるため、記載を省略しています。

(海外売上高)

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	252,984	1,707,987	19,834	1,980,806
II 連結売上高(千円)	—	—	—	5,065,855
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	5.0	33.7	0.4	39.1

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

※北米・・・米国、カナダ、メキシコ

※アジア・・・中国、台湾、香港、マレーシア、シンガポール、インド、サウジアラビア等

※その他の地域・・・欧州、オセアニア、南米、アフリカ等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	288,050	2,117,744	38,060	2,443,855
II 連結売上高(千円)	—	—	—	6,941,109
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	4.1	30.5	0.5	35.2

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

※北米・・・米国、カナダ、メキシコ

※アジア・・・中国、台湾、香港、マレーシア、シンガポール、インド、サウジアラビア等

※その他の地域・・・欧州、オセアニア、南米、アフリカ等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度残高(千円)	2,133,177	2,563,867	4,384,368	△754,979	8,326,433
当第3四半期連結累計期間末までの変動額					
剰余金の配当(千円)			△46,526		△46,526
当期純利益(千円)			△197,634		△197,634
自己株式の取得(千円)				△255	△255
自己株式の処分(株式交換)				507,108	507,108
株式交換に伴う差損(千円)		△252,121			△252,121
当第3四半期連結累計期間末までの変動額合計(千円)		△252,121	△244,161	506,853	10,570
平成21年12月31日残高(千円)	2,133,177	2,311,745	4,140,207	△248,126	8,337,004

6. その他の情報

該当事項はありません。